
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 160 号(2026.4.24)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 160 号をお届けします。

第 160 号の目次

1 活動組織の活動紹介

☆^{しらさわ}白沢保全会（^{なかつがる にしめや}青森県中津軽郡西目屋村）☆

鳥獣被害の防止に取り組んでいます！また、活動参加者の不足を解消するために、活動時間の工夫や広報活動を行っています！

☆^{おびひろしたいしょう}帯広市大正地区広域協定（^{おびひろ}北海道帯広市）☆

活動組織の広域化を行い、農地や排水路等の地域資源の保管理を効率化しています！活動を通して、地域の活性化と農業・農村の振興が図られています！

2 女性役員へのインタビュー

☆^{すえおき}陶沖地域保全会（山口県山口市）☆

女性の活動への参加が、活動の活性化や話しやすい雰囲気づくりにつながっています！外部から若い担い手が地域に入ることによって活動を継続させたいです！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆^{いまばりなんこう}今治南甲・^{きた}北保全会（^{いまばり}愛媛県今治市）☆

保全会の活動が伝わるよう、楽しさが感じられる写真や分かりやすい表現を使用し、広報に力を入れています！地区外の人にも参加できるベントを開催して周知を進めています！

【編集後記】

■ 1 活動組織の活動紹介(1) ^{しろさわ}～白沢保全会(青森県^{なかつがる}中津軽郡^{にしめや}西目屋村)～ ■

～ 地区概要 ～

西目屋村は青森県南西部の岩木山南麓に位置する村で、山間部のため天候の変化が激しい豪雪地帯です。また、世界自然遺産である白神山地を有し、大自然が育む豊富な水資源を生かし、良質な農産物を生産しています。

当組織は平成 26 年度から活動しており、活動範囲は田 10ha、畑 10ha、水路 4.3km、農道 1.8km となっています。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本地区では、鳥獣による農作物の被害が多いため、農地に設置した電気柵の補修や、電気柵周辺の藪払いによる緩衝帯作りなど鳥獣被害防止に力を入れています。
- ◎ 地元の婦人会と共に、コスモスの植栽や整備を行っており、地域と一体となって景観の美化に取り組んでいます。
- ◎ 活動時間をなるべく午前中に限定することで作業の負担軽減を図り、活動へ参加しやすい環境を整えることで、参加者不足の解消に努めています。
- ◎ 今後は広報活動に力を入れて、組織の取組を広く伝えることで、一人でも多くの活動者を増やし、組織の活性化に努めていきたいと考えています。



電気柵周辺の藪払い



コスモス畑の整備



水路の泥上げ



役員会

【西目屋村産業課】

編集担当 SDGs コメント 

水路の泥上げや藪払いなどの活動は、目標 2「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。

また、地区の女性の方がコスモス畑の整備といった植栽活動等に参加しており、目標 5「女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる。」にも貢献しています。今後も本活動を通じて、白沢地区の農村環境が活性化していくよう応援しています。



おびひろ たいしょう おびひろ

■ 1 活動組織の活動紹介(2)～帯広市大正地区広域協定(北海道帯広市)～ ■

～地区概要～

本地区は、北海道十勝平野の中央部に位置する帯広市の南西部を拠点に活動しています。

活動範囲は、畑 4,086ha、農道 167.3km、排水路 105.5km となっています。

～主な取組～

◎ 本地域では、農家戸数の減少や高齢化により、農地等の保安全管理についての農家負担が増加していたことから、地域住民を含めた活動体制の整備が必要となっていました。

◎ そこで、平成 19 年度から農地・水・環境保全国上対策の市内のモデル事業として、1 地区が先進的に取組を開始したことをきっかけに、その後も 2 地区が取組を開始し、令和元年度に広域合併しました。

また、令和 4 年度には新規地区が加入し、広域化の区域拡大を図るなど、各地区が連携を強めながら事業を推進しています。

広域化することで、事務的作業や経費の負担軽減が図られるとともに、排水路の一体的な維持補修等の対応などにより、合理的で行き届いた保安全管理が可能となっています。

◎ 活動内容としては、農道や排水路の維持補修、植栽による景観形成活動などに取り組んでいます。

◎ 活動を通して、農地等の地域資源が適切に保安全管理されるだけでなく、農村環境保全活動や啓発活動により、地域の一体感とコミュニティの強化に繋がるなど、地域の活性化と農業・農村の振興が図られています。

また、景観形成活動では、組織の構成員に老人会や子供会が加わり、若者からお年寄りまで世代を超えた交流が図られており、今後の継続的な活動が期待できます。

◎ 帯広市内では、本広域協定を含め 12 組織が



排水路の泥上げの様子



砂利補充の様子



婦人会が中心の植栽活動の様子



子供会が参加した清掃活動の様子

活動に取り組んでおり、令和8年度からは新たに4組織が取組を開始する予定です。今後も引き続き活動の充実を図ることができるよう、帯広地域一丸となって農業・農村を守っていきたいです。

【北海道農政部農村振興局農村設計課】

編集担当 SDGs コメント

排水路等の草刈りや泥上げ等を行うことは、目標2（持続可能な農業生産を支える）に貢献しています。

また、取組の継続のために広域化を図ったことは、目標12（持続可能な生産・消費を進める）に、女性会や子供会が活動に参加し、地域の保全管理を行っていることは、目標16（多様な主体の参画による地域づくりを促進する）に貢献しています。

これからも、本交付金を有効に活用いただき、ますます活動が活性化されるよう応援しています！



すえみき
■2 女性役員へのインタビュー ～陶沖地域保全会（山口県山口市）～■

組織の概要

本組織は、山口市の南部に位置し、3水系が流れている都市的地域で水稻栽培が盛んです。

ほ場整備の実現に向けて、耕作放棄地が発生しないよう多面の活動を通して水田、畑の維持管理を行っています。



(R6時点)

活動範囲：田 37.1 ha、畑 0.57ha

対象施設：水路 8.8 km、農道 6.9km

活動開始時期：令和 6 年度

左から 副代表 増田さん
代表 宮崎さん
会計 藤井さん

～インタビュー～

○話し手 宮崎さん、増田さん、藤井さん

○聞き手 中四局 多面的機能支払推進室
佐々木、柴田、小倉

○実施日時：令和 7 年 9 月 29 日

場所：山口市陶地域交流センター



水路の泥上げの様子

Q：役員を引き受けられたきっかけを教えてください。

A：(藤井氏) 地区の会計を担当していて、そのまま多面の会計担当になりました。
(増田氏) せっかくほ場整備をしても維持する人がいなければ、耕作放棄地が増えるばかりなので、少しでも力になればいいと思い引き受けました。

Q：役員を引き受けられる際に抵抗はありましたか。

A：(増田氏) 不安はありましたが、仲間もいるので一緒に頑張ろうと思いました。

Q：女性が活動に参加されて良かったと感じることはございますか。

A：(宮崎氏) 違う視点で物事を見る人が増えると、活動が活発になると思います。

(増田氏) 自分以外の女性役員がいると安心します。

(藤井氏) 女性がいると会議で話しがしやすいですし、活動に女性が参加しやすくなると思います。

Q：女性役員を引受けていただく秘訣はございますか。

A：（宮崎氏）適材適所で、相手の性格を把握して頼み込むのが良いと思います。また、家庭やお子さんに配慮した会議の時間設定など、引き受けてもらいやすい環境づくりが大切だと思います。

（増田氏）まずは声がけして、お試しで活動に参加してもらい、タイミングを見て役員の依頼をすると良いと思います。

（藤井氏）最初は不安でも引き受けてみると案外楽しいことも多いので、「あなたでもできるよ」「あなたしかいない」「新しい発見があるから」とお誘いすることが大切だと思っています。

Q：活動を実施されて良かったことを教えてください。

A：（宮崎氏）草刈りで水田が綺麗になり、感謝されることが増えました。

（増田氏）水田の維持について考えるようになりました。ほ場整備の実施に向けて、若い世代や関心のなかった非農家の方も多面の活動に参加してくれるようになり、人と人との交流の場を持てたことが良かったです。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：（宮崎氏）ほ場整備を目標に維持管理！

（増田氏）ほ場整備を契機に外部から若い担い手が地域に入ってほしいです。それまでは、地域の農地を耕作放棄地化せず、獣害被害からも守りたいです。

（藤井氏）自分の土地は自分で管理するという意識を共有して、多面の活動を継続したいです。



水路周りの草刈りの様子



耕作放棄地の草刈りの様子



重機で泥上げをする様子

編集担当 SDGs コメント

畦畔法面や水路・農道の草刈り作業をすることは、目標 2「持続可能な農業生産を支える」に貢献しています。また、女性が役員を務めていることは、目標 5「女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる」に貢献しています。さらに、活動を通じて地域の交流の場として貢献していることは、目標 11「住み続けられる地域をつくる」に該当します。今後も地域の方の交流の場になるような活動を応援しています。



■ 3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

いまほりなんこう きた えひめ いまほり
～今治 南甲・北保全会（愛媛県今治市）～

・ 広報誌の概要

- ・ 保全会では、年間の活動をまとめたパンフレットや保全会が主催して開催している「紫陽花まつり」の広報チラシを作成して構成員に配布しています。
- ・ FM ラジオの協力による祭りの宣伝や今治市役所朝倉支所が毎月発行している広報誌「あさくら便り」に、活動内容を定期的に掲載してもらっています。

～工夫しているポイント～

ポイント1 楽しく活動しているところを中心に掲載！

構成員の皆さんが楽しく活動しているところはもちろん、保全会のイベントに参加された地域住民の方が楽しそうな写真を掲載するようにしています。

ポイント2 地域の人に保全会の活動が伝わるような書き方で！

「この地域のいいところを次の若い世代につなげていきたい」との思いから、保全会では、植栽等の景観形成活動や地元小学校と連携した農業体験学習に取り組んでいます。広報チラシ等の作成では、できるだけ難しい言い回しを避けて、非農家や地域住民の方に保全会の活動が伝わるような書き方をすることで、活動のより広い PR・周知につながっています。

ポイント3 イベントについて詳しく掲載！

梅雨時には農道の路肩に紫陽花がきれいに咲き誇り、令和5年度から保全会が主催して「紫陽花まつり」を開催しています。祭りを知ってもらう・来場してもらうため、広報チラシの作成・配布をしています。また、地区外から多くの方に来場してもらい、より地元を盛り上げていくため、FM ラジオでの宣伝にも力を入れています。

今回インタビューさせていただいた
今治南甲・北保全会

代表：もとおか元岡 ただゆき忠行 さん

現在、「紫陽花まつり」をより盛り上げていくための方法を検討中とのこと。



ポイント1 楽しく活動しているところを中心に掲載!

活動に参加されている方が楽しそうに活動されている写真を多く掲載しています。

あさくら便り

第247号
令和7年8月1日発行

編集・発行 今治市朝倉支所 〒799-1692 今治市朝倉北甲397番地 TEL 0898-56-2500 FAX 0898-56-3513

災害に備えて土のう作りと水防工法習得 ～消防団朝倉方面隊水防訓練実施～

近年、全国各地で集中豪雨が多発しています。そのような集中豪雨に備えるため、6月29日(日)に朝倉支所裏駐車場で水防訓練が実施されました。

水防訓練では、約80人の消防団朝倉方面隊の団員が3つの班に分かれ、今治市中央消防署東分署員の指導を受けながら、備蓄のための土のう作りと河川の氾濫を想定した水防工法の手順の確認と実習が行われました。団員は、土のう作りと河川の越水を防止する「積み土のう工法」の技術を習得するため、真剣に取り組んでいました。



備蓄のための土のう作りと「積み土のう工法」を実践する団員

朝倉小学校児童 ～田植え活動～

6月16日(日)、総合学習の一環で、朝倉小学校の3年生と5年生の児童約50人が田植え活動を行いました。

当日は今治南甲・北保全会(代表:元岡忠行氏)の皆さんが講師として招かれ、まず米づくりの工程、苗の持ち方や植え方などについて説明がありました。その後、児童たちは苗を持って水田に入り、1列に並んで、苗を丁寧に順序よく植えていきました。

今後は同保全会が除草処理や水の管理などのサポートをしながら、児童たちは苗の成長観察を行い、10月に稲刈りを行う予定です。



1列に並んで苗を丁寧に順序よく植えていく朝倉小学校の児童

朝倉紫陽花まつり開催

6月22日(日)に朝倉北集会所周辺で、今治南甲・北保全会(代表:元岡忠行氏)主催による「朝倉紫陽花まつり」が開催されました。

来場者は紫陽花が咲き誇る「アジサイロード」と呼ばれる農道沿いで、色とりどりの紫陽花を満喫しながら、気に入った紫陽花を切り取っていました。

当日は、小学生以下を対象に魚のつかみ取りも行われ、子どもたちは素早く逃げる魚を歓声をあげながら懸命に追いかけていました。

その他、保全会員が栽培した野菜の販売やメダカすくいもあり、多くの家族連れなどで賑わっていました。



野菜の販売

メダカすくい

魚のつかみ取り

アジサイロード

「JFAアカデミー今治を励ます会」 《会員募集》

JFAアカデミー今治を励ます会では、JFAアカデミー今治の活動の充実をサポートし、地域との親睦を図る事業などを行い、アカデミー生を陰で支えています。今後の事業展開のため、趣旨に賛同される皆さまのご加入をお願いします。

- 会費(年会費)
正会員(個人) 1口1,000円
賛助会員(団体) 1口2,000円

- 入会要件
正会員は今治市の住民および出身の方

- 問合せ先
JFAアカデミー今治を励ます会事務局
(朝倉地域教育課 TEL.0898-56-2024)



ポイント2 地域の人に保全会の活動が伝わるような書き方で!

活動内容を具体的に、分かりやすく書くようにしています。

ポイント3 イベントについて詳しく掲載！

イベントの要点を分かりやすくまとめた、広報チラシを配布しています。



メダカ
おもちゃすくい
もあるよ

2025 紫陽花まつり

参加費 無料 ※一部有料

主催：今治南甲・北保全会

会場 今治市朝倉北集会所周辺
(朝倉支所から上朝方面へ徒歩5分)

日時 6月22日(日) 9:00 START

紫陽花の切り取り
無料(ハサミ持参)
営利目的はご遠慮×

野菜の即売会
安価で新鮮な野菜を
提供。(大量購入×)

魚のつかみ取り
小学生以下無料(保護者同伴)
未就学児・小1~3年・小4~6年に
分かれて実施

多種多様な紫陽花を積んでください
取れたての地物農家栽培の野菜も安く販売。
その他の催しもあります。

お客様へのお願い

- ・駐車場は今治市朝倉支所の駐車場をご利用ください。
- ・会場内での喫煙は指定の場所でお願致します。
- ・ゴミはなるべく各自でお持ち帰りください。

お問い合わせ先
朝倉支所住民サービス課
☎ 0898-56-2500
今治南甲・北保全会
(保全会長) 元岡 忠行
☎ 0898-56-3430

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。はじめまして、新年度から「農村ふるさと保全通信」の担当を引き継ぎました。引き続き、皆様のお役に立つ情報を数多く届けられるように努めていきます！御意見・御感想等もぜひお待ちしております！

私事ですが、4月から社会人になりまして、慣れない環境の中不安でいっぱいですが、1日1日を大切に、頑張っています。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイデアシート（案）◇

SDGs アイデアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp



----- 【発行】 -----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：小松原、内田）

TEL：03-3502-8111（内線85499）